

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2724	浜名湖エデンの園	(福)聖隷福祉事業団	H28.1.26
有老協HPでの評価結果公表希望		有	
評価機関	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	A	6.2.4	非	非
1.2.1	A	A	2.3.8	A	A	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	C	C
1.3.2	A	A	2.4.1	A	B	6.2.9	B	B
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.3.1	A	A
1.4.1	A	A	2.4.3	A	A	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	A	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	B	B	7.2.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.3.1	A	A
1.4.7	A	A	3.1.3	A	A	7.3.2	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	A	B	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	B	B	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	A	A	4.1.2	A	A	7.4.4	B	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	A	B
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	B	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	A	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	A	A	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

## 評価機関の所見

### 1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-1-4	法人全体で5カ年の中期事業計画を策定するしくみが定着しており、「ビジョン2020」にもとづく中期事業目標や中期事業戦略のもとで安定的な運営が展開できるように取り組んでいる。これらのビジョンは目標参画システムを通して職員一人ひとりに浸透を図るとともに、ホームページ等を通して入居者や家族、広く社会全体に周知して理解が進むように整えている。
4-1-4	入居者の日々の生活を支援するためにさまざまな外部の生活サービスを導入している。園内で軽食も摂れる喫茶コーナーの設置や、野菜や布団、婦人服、メガネ、乳製品などの園内販売を積極的に受け入れている。さらに、司法書士による相談日を設けたり、定期的に金融機関の訪問日を設定する等、毎月開催している運営懇談会において入居者からの要望を聞き取りながら、より快適な生活に寄与するために取り組んでいる。
4-2-2	運動や趣味、娯楽などとともに行事やレクリエーションなど、多彩な楽しみを提供している。ホーム内に設けられたコーナーやラウンジ、ホールなどを活用し、入居者が自主的に行うクラブ活動や体操・コーラスのほか、ボランティアによる活動も多い。さらに懇談会やコンサートなど、その時の様子をDVDに収めて提供する等、楽しみや情報を共有している。それらは活動ごとに振り返りを行い、入居者の意向に沿うよう努めている。
5-2-4	管理栄養士を配置し、入居者の食事全般に注意を払うとともに、要介護者に対してはリスク管理を行い、栄養状態の把握を数値で確認したり、看護師と連携を図りながら低栄養の予防、改善に向けて取り組んでいる。また、必要に応じてケース会議に参加するなど、適切な食事提供ができるよう検討している。さらに、自立の入居者に対しては、月に2回の相談日を設け、栄養や咀嚼、嚥下など、食事に関してのさまざまな相談に応じている。

### 2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
2-4-1	入居者や家族等、取引業者からのホームに対する金品授受については、原則として受け取らないことについて職員に研修を実施したり、心遣いを禁止していることをホーム内に掲示して入居者等への浸透を図っている。なお、土産等をいただいた場合には園長に必ず報告するしくみはあるが具体的な管理方法等を文書化していないため、一連の手続きについてマニュアル化していくことが望まれる。
3-1-1	昭和48年に開設されたホームであり、居室内の段差解消等のバリアフリー構造に向けて改修を進めてきている。現在のところ、介護居室内は完全なバリアフリー構造となっている一方、一般居室内で水回りの一部の箇所にバリアフリー構造となっていない部分がある。今後も引き続き改修計画にもとづいて居室のバリアフリー化を目指していくことが期待される。
6-2-8	行事の様子や食事サービスからの情報、診療所の医師からの注意喚起等を盛り込んだ園の広報紙を毎月作成し入居者に配布している。また、運営懇談会の議事録も配っているが家族等への送付はない。行事への家族等の参加に際しても、面会の際に掲示板を見てもらい開催を知るのみで、都度の知らせは行っていない。今後、家族等が頻繁にホームに足を運んでもらえるよう、入居者の様子を知らせるなどでさらなる交流の機会を作りたい。